

ふう けい き こう
風景紀行
冬の浅間山、
八ヶ岳
 94
 東信森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

冬ならではの風景から

〔東信署〕東信森林管理署管内は、八ヶ岳、浅間山、美ヶ原高原、湯の丸高原等魅力的な観光地が多く、春から秋にかけて管内の山岳、高原等には首都圏をはじめとし全国から多くの観光客が訪れます。冬期間は数多くあるスキー場に観光客は集まりますが、こうした場所を一步離れると、場所によっては氷点下一五度以下にもなる長野県内でも有数の寒さが厳しい自然環境から、静かなたたずまいとなります。

しかし、こうした厳しい自然環境だからこそ、浅間山、八ヶ岳等では冬ならではの風景を見ることが出来ます。今回はそんな管内の一部を紹介させていただきます。

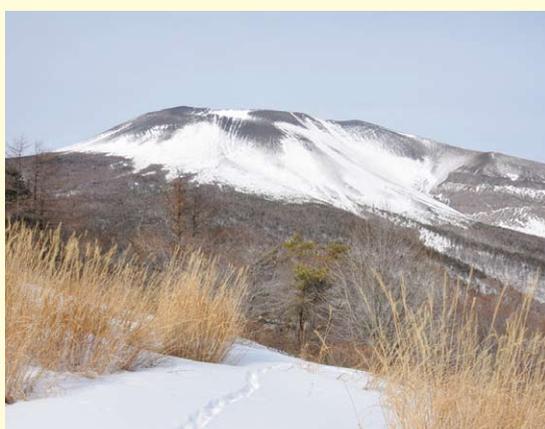
◆石尊山

浅間山の中腹に位置する標高一六六七・七の小さな山で、遠望すると浅間山の大きな山麓に溶け込みはつきり見えな山ですが、里から近く、手軽なトレッキングコースとして親しまれ、山頂から

の浅間山、佐久平の眺めは大変すばらしいものがあります。また、天皇ご一家が軽井沢の静養の際たびたび訪れる山としても知られています。登山道の途中にある赤滝(血の滝)で



石尊山の山頂(夏)



石尊山から浅間山を望む(冬)

は、水中に多く含まれる鉄分が空気に触れ、茶色く濁った水が流れています。その上流にある源泉では、まだ空気にあまじり触れていない透明な水を見ることができ、自然の面白さを感じさせられます。

◆八岳の滝

八ヶ岳山麓には、豊富な地下水等により多くの湖水、滝等が存在します。とりわけ滝は、夏は豊富な水量からダイナミックな姿を見せますが、冬は厳しい寒さの中で、全体が凍りつき、青く神秘的な氷瀑の姿を見せてくれます。この滝は、小海町松原湖から稲子湯に向かう途中にあります。国有林は比較的奥地にあります。冬季間は交通アクセス等厳しい状況もありますが、他にも溪流等が凍りつき思わぬ景観が楽しめる箇所が各所にあります。また、管内民有林でも北相木村の三滝等有名な氷瀑等を楽しめます。



八岳の滝(夏)



凍りついた八岳の滝

冬季は交通アクセス、現地駐車場等十分ではない状況ですので、他の迷惑にならないよう配慮いただき、冬しか味わえない景色を楽しんでいただければと思います。



八ヶ岳(冬景色)

◎アクセス

〔石尊山〕

お車でお越しの場合

上信越道小諸インターから浅間サンライズを経由し、軽井沢町追分地区千ヶ嶺林道沿いから追分コースへ、山頂までは約二時間。

〔八岳の滝〕

お車でお越しの場合

中部横断自動車道佐久南インターから国道一四一号線を南下し、小海町松原湖入口から小海リエックススキー場を過ぎ、八岳の滝バス停へ(案内看板あり)、滝までは約五分。